

1. 件名：「大間原子力発電所の地震等に係る新規規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（144）」

2. 日時：令和5年12月21日(木) 13時30分～15時50分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門

岩田安全管理調査官、三井安全管理調査官、佐藤主任

安全審査官、藤川安全審査官、松末技術参与

電源開発株式会社 首藤 敦 執行役員 原子力事業本部長代理 他8名

5. 要旨

(1) 電源開発(株)から、第1199回審査会合(令和4年10月20日開催)等での指摘に対するコメント回答について、提出資料に基づき説明があった。

(2) 原子力規制庁は、以下について事実確認を行った。

- ・ 第一段階における2地点の比較の結果については、シームの性状と周辺岩盤の性状を分けて説明すること。
- ・ 活動性の有無の各地点での比較検討について一定程度の説明が進捗した後、活動性有の地点である Ts-6 法面付近の深部方向の性状について比較検討し、その結果を説明すること。
- ・ 比較検討した結果、活動性の有無の各地点において差別化の指標として選定する項目については、活動性の有無の観点から異なるとする考え方等を説明すること。
- ・ 今回の説明にあたって必要な説明事項については、補足説明資料ではなく本体資料で引用出来るようにするなど、資料の説明性向上の観点から整理すること。

(3) 電源開発(株)から、了解した旨の回答があった。

(4) その後、提出資料に基づき、今後の審査スケジュールについて相互で確認を行った。

6. 提出資料

- ・ 大間原子力発電所 審査会合における指摘事項について(地震・津波関係)

- ・ 大間原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答 その16）（シームS-11の評価 第一段階）
- ・ 大間原子力発電所 敷地の地質・地質構造（コメント回答 その16）（シームS-11の評価 第一段階）（補足説明資料）
- ・ 大間原子力発電所 地震・津波関係に係る検討状況及び今後の工程について